

道南陸上競技協会 「2024基本方針」

～千代台改修及び新システム導入に対応した運営を目指す～

◎競技力の向上を目指し「普及育成」と「強化」を重点に置き、創意・工夫、魅力ある事業や競技会を開催し、その運営に努める

◎国際化、情報化、少子高齢化など、社会の変化に対応した組織運営に努める

- 1 国際大会など世界を目指す道南選手の輩出とその支援をする。
- 2 小中高生の系統的普及育成と強化の充実を図り、トップ選手の育成・輩出を目指す。
特に、減少傾向にある中長距離選手及び投擲選手等の発掘、育成に力点を置く。
- 3 参加者や観戦者に臨場感溢れる魅力ある競技運営に努め、普及育成に連動させる。
- 4 関係団体と連携し、小中高など部活動及び地域クラブの支援活動に努める。
- 5 少子化、高齢化に対応する審判員の普及、啓蒙、確保と審判技術の向上に努める。
- 6 新しい規約のもとに、組織の機能、活性化に努め、合理的な運営に努める。
- 7 陸連後援大会に認証された函館マラソンの推進及び運営に努める。
- 8 東日本小学生陸上競技大会は改修された千代台で開催する。
- 9 北海道中学校陸上競技大会を主管し、その運営に努める。
- 10 南部忠平記念陸上競技大会を主管し、その運営に努める。
- 11 創立100周年（2029年）に向けて、資料（記録含む）の整備に取り組む。

◎基本方針及び基本事項に対応する具体策

1 競技大会と運営

- 1 各記録会の内容 ○普及と強化を加味した内容と種目
○時期により、全道大会、全国大会に対応した種目
○小学生低学年の種目及び工夫内容 幼児も含む
親子レース
○未登録者、マスターズ
- 2 道南デイスタンス ○第1戦（6月2日）は、実業団も参加する
未登録者の部
○第2戦（11月10日）未登録者にも啓蒙
○駅伝、ロードレース、トラック、リレー等アイデアを
出し合う。（町内会対抗、少年団対抗などリレー、ミニ駅伝
親子かけっこマラソン、ちびっこ駅伝）
- 3 東日本小学生陸上 日程（①1日、②1，5日）3月までに確定、各県へ案内
○青森県の要望 中学の部可否 無い場合は、1日日程。
- 4 南部記念陸上 計画書、予算要望 1月中旬 申請4月以降
○道陸協と連携
○一流選手など実技講習会
- 5 北海道中学陸上への対応 準備委員会副委員長 岩上理事長
○審判委員会 中体連以外の審判員の確保 交通費
○運営協力金 （ ）
○入力 プロ編成他（ ）
- 6 その他 台中市陸上交流があれば対応 （台中陸協 趙子文氏から問い合わせ）
小学生大会参加と交流

*審判員交通費等の確認（未登録、協力審判員）

1日	2000円（未登録1000円）	補助員	1日	1000円（兼500円）
	1500円（ ）			
半日	1000円（未登録 500円）		半日	500円